

整理番号	事業名
45	在宅ねたき高齢者等家族介護用品給付事業費

所管部局
保健福祉部介護保険課

※( )の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	Ⓐ(4) 妥当でない(0)	〇3級以下の人への配慮が欲しい。  〇対象を広げることがあれば予算が増える。 〇高齢化の進行を考えると増額も考えられる。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当	Ⓐ(4) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	Ⓐ(3) 妥当でない(1)	
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	Ⓐ(3) 妥当でない(1)	
コスト負担	コストの節減度	節減できている	Ⓐ(3) 妥当でない(1)	
	将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性	Ⓐ(3) 妥当でない(1)	
	受益者負担の適正度	評価対象外		
執行方法	外部委託の可能性	不可能	Ⓐ(4) 妥当でない(0)	
	実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	Ⓐ(3) 妥当でない(1)	

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
①現行どおり (2) ②改善(2) ③当面現状維持(0) ④廃止(0)	<p>〇非課税世帯の介護人家族を支援する当該事業の社会的意義は非常に高い。今後は、介護度にかかわらず、在宅で常に紙おむつを必要とする高齢者等に対し、一定の給付ができないか、要件の緩和についても検討してほしい。</p> <p>〇給付の趣旨からみて、「薄く広く」より低級の方にも恩恵が行きわたるようにして欲しい。</p> <p>〇増加していくであろう事業費を適正に定める努力をお願いしたい。あくまで経済的負担の軽減というだけの事業ではないと思うので、様々な角度からのサポートをしてほしい。</p> <p>〇高齢化の急激な進行を踏まえ、「予算の上限」を人口推計を利用して算出しておいた方がよい。</p> <p>〇介護家族やケアマネージャー、業者など、介護者と接点のある人たちにアンケートや状況の報告等を実施し、現在の事業内容が妥当なのかを、都度、検証する必要があると思う。</p>
外部評価委員会としての提言 <b>改善</b>	

